

1942（昭和17）年

月	日	曜日	From	Towards	Lying at	1942年8月の出来事抜粋
8	1	土			横浜	
	2	日			横浜	
	3	月			横浜	
	4	火			横浜	1300課業始メ 入渠準備作業 1430氷1/2噸積取
	5	水			横浜 浅野第一乾船渠	0940抜錨 1030浅野第一乾船渠 入渠終了 1315排水開始 1440排水一時中止 1540再び排水開始 1542船体龍骨台二据ル 船渠工員ハ支柱開始又同時二外板及船底清掃開始 1600排水一時中止 支柱終了 1710再び排水開始 1915船渠排水終了
	6	木			浅野第一乾船渠	0900課業始メ 船底清掃 雑業 船渠工員船底塗粧開始 1930船渠工員船底塗粧閉止
	7	金			浅野第一乾船渠、東京	0730船渠工員船底塗粧開始 0900課業始メ 出渠準備業 0930船底塗粧完了 1100船渠内注水始ム 1210船体浮ブ 1300課業初メ 出渠並出港作業及雑業 1330船渠満水船渠止水扉開扉 1400僚船海王丸出渠 1430機関用意 1435出渠開始 1445船渠入口通過出渠終了 京浜横浜出港同東京二向フ回頭開始 1645東京着港 昭和十七年第一次短期航海終了ス
	8	土			東京	
	9	日			東京	
	10	月			東京	
	11	火			東京	0900課業始メ 前檣諸帆乾燥 1300課業始メ 乾燥諸帆格納
	12	水			東京	
	13	木			東京	
	14	金			東京	
	15	土			東京	
	16	日			東京	(月日を漢数字で記載)
	17	月			東京	
	18	火			東京	
	19	水			東京	
	20	木			東京	
	21	金			東京	1115通船米20俵積ミ帰船ス
	22	土			東京	
	23	日			東京	(暦年を皇紀で記載)
	24	月			東京	
	25	火			東京	
	26	水			東京	
	27	木			東京	
	28	金			東京	
	29	土			東京	0900課業始メ 各檣検査不良部修理及雑業
	30	日			東京、横浜	0525課業始メ 出港諸準備作業 0915抜錨 京浜港東京出港横浜二向フ 1100横浜着
	31	月			横浜	0900課業始メ 各檣点検修理 1100冷凍氷1噸積込 1300課業始メ 檣点検修理
(記事) 東京または横浜港に停泊。8月5〜7日に横浜の浅野船渠に入渠。停泊中は船体整備作業を実施。日本語で記載を始めたが、「ハッチ」「テレモーター」など一部は英語をカタカナで記載。						
月	日	曜日	From	Towards	Lying at	1942年9月の出来事抜粋
9	1	火			横浜	0230晴雨計降下天候陰惡トナル 錨鎖45尋「カウンターヤード」トナス 0540課業始メ 生徒居住区整備 短期生徒乗船準備 0900課業始メ 生徒乗船準備 1100第一短期高等海員養成所教官3名及生徒102名(内訳 航67名機35名)乗船ス、引続キ後甲板ニ於テ乗船式挙行ス 1600風凧ギタルヲ以テ「ステアーヤード」トス
	2	水			横浜	0905抜錨 京浜港横浜出帆 0925横浜第三区二仮泊ス 0935総短艇操練 1115六分儀実習 1300課業始メ 操舵機、磁気羅針儀説明実習 機関科学習 1600補課始メ 自差測定、天測計算、手旗信号 1830航海科実力考査

	3	木			横浜仮泊	0900課業始メ 防火操練 短期生徒登橋練習甲板器具説明 1030船長、次一運 海軍武官府港務部出頭 1300課業始メ 短艇帆走訓練 1830短期生徒恒星天測実習
	4	金			横浜	0905拔錨 東京湾内巡航練習航海ノ為横浜仮泊錨地ヲ発ス 短期生徒作業及訓練 0920－1000防水部署 1000－1130航海実習及手摺り石摺及雑業 1715投錨 横浜第三区二仮泊ス 1830自習
	5	土			横浜	0900課業始メ 生徒船長講話
	6	日	横浜	湊	横浜、湊	0900拔錨 横浜仮泊錨地発湊二向フ 1340投錨 湊着 1400生徒端艇帆走練習開始 1740総員軍歌練習
	7	月	湊	東京	湊、東京	0550拔錨 湊発東京二向フ 1000京浜港東京第三区二仮泊ス 1300課業始メ 生徒後部船橋外側塗粧作業 端艇○漕及帆走練習 1600補課始メ 補課 航海科分隊 自差測定 機関科分隊 手旗信号 1830映写会開始
	8	火			東京仮泊	0900大詔奉戴式 船長講話 1330機関科分隊下船式及下船 1430機関科分隊（42）乗船及乗船式
	9	水			東京仮泊 横浜	0910拔錨東京仮泊錨地ヲ発シ横浜二向フ 1050投錨横浜着 1300課業始メ 生徒学習（無線、運用、機関実習） 普通海員大櫓バックステー分解手入 1320燃料油16噸第一右舷深槽二積取り 1630八反田短期養成所教頭来船
	10	木			横浜、東京仮泊	1235拔錨東京湾内巡航練習航海ノ為横浜発 1715投錨仮泊ス
	11	金			東京仮泊	1300課業始メ 機関科帆走訓練 1600灯火管制説明及操練施行
	12	土			東京仮泊	0715拔錨練習航海ノ為東京仮泊錨地ヲ発ス 1035投錨仮泊ス
	13	日			東京	1300課業始メ 生徒総員感想文認方 1830－1930短期生徒感想発表会 於生徒食堂 1930－2130短期生徒下船茶話会
	14	月			東京仮泊	0805短期高等海員養成所生徒下船式ヲ施行ス 0830養成所教官及生徒下船ス 仮泊ヲ解キ碇泊トナス
	15	火			東京港仮泊 横浜碇泊	0910拔錨東京発横浜二向フ 1050投錨横浜着 1500食糧積込完了
	16	水			横浜	0900課業始メ 短期生徒乗船準備及雑業 1100第二短期高等海員養成所生徒145名及引率教官3名教頭1名乗船ス直ニ乗船式ヲ後甲板ニ於テ挙行ス 終ッテ分隊編成ヲ行フ 1300課業始メ 短期生徒船内旅行及櫓登訓練 身廻整理 1500清水107噸積込施行
	17	木			横浜、東京仮泊	0925拔錨横浜発東京二向フ 1120投錨東京着仮泊ス 1600補課始メ 軍歌練習
	18	金			東京仮泊	0900課業始メ 生徒防火部署訓練 岡田式消火器実演機関室防火（C/E） 1300課業始メ 航海科生徒帆走練習
	19	土			東京仮泊	1300課業始メ 船内大掃除 船長点検 船長講話 1800天候陰悪暴風雨トナル カウンターヤード 錨鎖四節トス
	20	日			東京	1600補課始メ 軍歌練習 1830自習（映写会）
	21	月			東京	1300課業始メ 生徒 一運並二次一運講話 1600補課始メ 櫓登練習
	22	火	東京	横浜	東京、横浜仮泊	0200風浪激烈トナル 錨鎖5節ニ繰出ス 1240拔錨東京仮泊錨地発横浜二向フ 1455投錨仮錨泊ス
	23	水			横浜	
	24	木			横浜	0800秋季皇霊祭二付キ船飾トナス
	25	金	横浜	湊	横浜仮泊、湊碇泊	0905拔錨横浜仮泊錨地発湊二向フ 1500投錨湊入港 1530補課始メ 総員救命器具実習
	26	土	湊	東京	湊、東京	0835拔錨湊発東京二向フ 1510投錨東京着港 1600補課始メ 灯火管制説明 船橋及後部其他ノ天幕取付付ケ
	27	日			東京	1300課業始メ 生徒（航）感想文認方（機）大成丸機関見学 1830－1930 短期生徒感想発表会 1930－2130 短期生徒下船茶話会

	28	月			東京	0830 第二短期高等海員養成所生徒下船式ヲ举行ス 0830第二短期高等海員養成所引率教官4名及生徒144名下船ス 昭和十七年度第二次短期航海終了ス 0900課業始メ 毛布藁布団乾燥其他下船後々始末 1300課業始メ 乾燥物品搬入後休業
	29	火			東京	0525課業始メ 新生徒乗船準備
	30	水			東京	0900課業始メ 第十三期生徒乗船準備作業 1300課業始メ 生徒乗船準備作業 1730警戒警報発令ニ付警戒管制トス
(記事) 1日～14日第一短期高等海員養成所生徒102名乗船し、東京湾で訓練を実施 8日機関科分隊が下船し、別の機関科分隊が乗船 16日～28日第二短期高等海員養成所生徒145名乗船 26日灯火管制の説明 30日に警戒警報発令、警戒管制とする 一部の暦年を皇紀で記載、また月日を漢数字で記載。						
月	日	曜日	From	Towards	Lying at	1942年10月の出来事抜粋
10	1	木			東京	1100第十三期生徒乗船(86名)シ乗船式举行ス終ッテ分隊編成ヲ行フ 1130石炭10噸積込施行ス
	2	金			東京	0900課業始メ 生徒総員身体検査 衣服点検 1300課業始メ 生徒櫓登練習 1600補課始メ 船歌練習 日課号令練習
	3	土			東京	0830次一運 生徒44名 明治神宮宮○参拝
	4	日			東京	0830 二運、一機 生徒46名 明治神宮宮城参拝、1300日曜ニ付キ休業
	5	月			東京	1300生徒実力考査(英語、航海術) 1830生徒歓迎茶話会
	6	火			東京	
	7	水			東京	1300課業始メ 生徒総員実力考査講評(2/O A3/O)
	8	木			東京	0900大詔奉読式並ニ役員任命式
	9	金			東京	1300課業始メ 左舷生 柔剣道練習
	10	土			東京	
	11	日			東京	
	12	月			東京	
	13	火			東京	1230機関検査官来船ス
	14	水			東京	0900課業始メ 普通海員 後櫓尾櫓石鹸拭作業 1300課業始メ 主櫓前櫓ノ各櫓桁清水拭キ 1600補課始メ 生徒総員武道練習
	15	木			東京	0540課業始メ 櫓桁総塗準備作業 1230検査官機関検査ノ為来船 1300当○生徒及普通海員櫓行総塗粧
	16	金			東京	0900靖国神社臨時大祭ニツキ休業 1015総員集合 黙禱ヲ行フ 生徒分隊對抗○走競技举行ス
	17	土			東京	0800新嘗祭ニ付キ船飾施行ス
	18	日			東京	0830次三運(引率)、一機、生徒42名(靖国神社参拝)上陸
	19	月			東京	1300課業始メ 総員作業 各櫓木製部石鹸拭及油拭 1600補課始メ 武道練習
	20	火			東京	0900課業始メ 普通海員帆点検及修理(B帆) 1600補課始メ 機関室見学
	21	水			東京	0900課業始メ 普通海員各櫓動索取付ケ 1550補課始メ 武道練習
	22	木			東京	1600補課始メ 武道練習
	23	金			東京	0800靖国神社例祭ニ付船飾施行ス 0930海王丸対日本丸ノ武道及卓球試合ヲ施行、柔道及卓球日本丸、剣道ハ海王丸ニテ行フ 1150試合終了 柔道(5:4ノ負) 剣道(7:3ノ負) 卓球(6:4ノ負)
	24	土			東京	0900課業始メ 帆"B"号修理 1615(海務院船員部3名航海練習所菅原安原氏来船)
	25	日			東京	0900課業始メ 普通海員帆点検及修理
	26	月			東京	0900課業始メ 帆修理 1015東京高等商船学校助教授森田氏来船デ\nマーク体操講習ヲ行フ 1330船長(以下略)大成丸訪問
	27	火			東京	0900課業始メ 普通海員帆検査修理 1025総員体操講習(東京高船森田助教授指導) 1300課業始メ 帆上架並ニ検査修理

1942（昭和17）年

	28	水			東京	0900課業始メ 普通海員メンセイル修理 1015作業止メ 森田高等商船学校助教授来船 1030総員体操講習（森田助教授指導）1300課業始メ 普通海員帆修理 1700補課始メ 検錨施行ス左舷錨ヲ巻入レ検査ノ上直二同錨ヲ投入左舷錨鎖3節（45尋）繰出ス
	29	木			東京	
	30	金			東京	0830首三運 次三運 及 生徒44名高尾山行軍ノタメ上陸
	31	土			東京	0830二運 二機 生徒42名高尾山行軍ノ為上陸
	（記事）1日～1943（昭和18）年3月23日第十三期生徒86名乗船 23日日本丸と海王丸で武道と卓球の試合を実施。明治神宮や靖国神社へ参拝、高尾山へ行軍。以後、暦年を皇紀で記載					
月	日	曜日	From	Towards	Lying at	1942年11月の出来事抜粋
11	1	日			東京	
	2	月			東京	1120成蹊学園訓導（4）児童（54）見学ノタメ来船
	3	火			東京	0800明治節ニ付キ 船飾施行 0900明治節奉拝式挙行 明治節ニ付休業 1200糧食搭載施行 1600～1630軍歌練習ヲ行フ
	4	水			東京	
	5	木	東京	横浜	東京	0915総員整列出帆二際シ 船長訓示 0930抜錨東京発横浜二向フ 1545仮泊ス
	6	金	東京	横浜	東京	0810抜錨 1640仮泊ス
	7	土	東京	横浜	東京	
	8	日	東京	横浜	東京	0900大詔奉読式挙行ス
	9	月	東京	横浜		
	10	火	東京	横浜		
	11	水	東京	横浜		1245課業始メ 銃器金物手入
	12	木	東京	横浜	横浜	0630抜錨 総帆展 1145投錨 横浜着 1300船長、次一運、海軍武官府ニ出頭ノ為上陸
	13	金			横浜	
	14	土			横浜	
	15	日			横浜	1010海洋連盟主催女学生海に親しむ会便乗者（女学生及海務院航練及映画関係者）192名乗船ス 1300上手廻操練施行ス 1410溺者救助操練施行ス 1535諸訓練ヲ終了シ横浜ニ帰港
	16	月			横浜	
	17	火			横浜	1320燃料油81.5噸積載
	18	水			横浜	0805帆乾燥ノ為展帆
	19	木			横浜 青堀	0910抜錨横浜発青堀二向フ 1110投錨青堀着
	20	金	青堀	湊	青堀、湊	1300抜錨青堀発湊二向フ 1615投錨 2100風浪強マリ カウンターブレース トス
	21	土			湊	0420交通艇纜索切断 漂流シテ佐貫海岸ニ打上ラル 0630ヨリ交通艇救助作業ニ従事シ 1530高潮ヲ利用シ引下シニ成功ス 船体機関共ニ損傷ナシ 1300交通艇救助作業
	22	日	湊	東京	湊、東京	0615抜錨 湊発東京二向フ 1145投錨 仮泊ス 1300総員後甲板整列 細野四運送別ノ式ヲ挙行ス 1315細野四運退船サル
	23	月			東京	0800新嘗祭ニ付キ 船飾トス 0900新嘗祭ニ付キ休業
	24	火			東京	
	25	水			東京	
	26	木			東京 横浜	25日1730頃交通艇御台場沖防砂堤ニ乗上グ 26日1800頃附近航行中ノ曳船ノ助力ヲ得テ引卸シニ成功ス。船底ニ多少ノ損傷アリタルモ自力ニテ航行同夜横浜碇泊本船側ヘ回航ス 1050抜錨 両舷前進微速 品川仮泊錨地発（実弾射撃区域外出動ノ為）横浜二向フ 1245投錨
	27	金			横浜	0845抜錨横浜仮泊錨地発 0940投錨 1115抜錨 1235投錨 1320抜錨仮泊錨地発横浜二向フ 1500投錨 横浜着
	28	土			横浜	1230生徒総員報国団ニ講演ヲ聞キニ行ク（最近ノ国際情勢ト船員ノ覚悟） 1345交通艇にっぽん横浜工作所検査ノタメ上○
	29	日			横浜	

1942（昭和17）年

	30	月			横浜	交通艇にっぽん中間検査受検（於横浜工作所）0900交通艇にっぽん受検
	（記事）10月1日～1943（昭和18）年3月23日第十三期生徒86名乗船 児童や女学生の船内見学あり 11日銃器手入れ 28日「最近ノ国際情勢ト船員ノ覚悟」をテーマとする講演会に生徒参加					
月	日	曜日	From	Towards	Lying at	1942年12月の出来事抜粋
12	1	火			横浜	
	2	水			横浜	
	3	木			横浜	1200交通艇にっぽん修理及中間検査完了ス
	4	金			横浜 盤州鼻北方仮泊	0905抜錨横浜発姉ヶ崎二向フ 1635投錨 盤州鼻北方仮泊
	5	土			品川沖仮泊	0640抜錨仮泊錨地発 1520仮泊ス
	6	日			品川沖仮泊	0900課業始メ 防空部署訓練
	7	月			品川沖仮泊	
	8	火			東京港沖仮泊	0800大東亜戦争大詔喚発記念日ニ付キ船飾ヲ行フ 0900総員上甲板整列大詔奉読式挙行
	9	水			品川沖仮泊	
	10	木			品川沖仮泊	
	11	金	横浜	湊	品川沖仮泊、横浜沖仮泊	0900抜錨 1120投錨仮泊ス
	12	土	横浜	湊	横浜沖仮泊、湊碇泊	0845抜錨 横浜沖仮泊錨地発湊二向フ 1330投錨 錨泊ス 湊入港
	13	日	湊		湊碇泊、品川沖仮泊	1215抜錨湊発 1600投錨 品川沖仮泊
	14	月			品川沖仮泊	0900課業始メ 生徒総員前期考査 1245課業始メ 生徒考査
	15	火			品川沖仮泊	0900課業始メ 生徒総員前期考査
	16	水		千葉	品川沖仮泊 千葉港	0910抜錨仮泊錨地発 1500投錨 千葉入港
	17	木			千葉港	
	18	金			千葉	1245課業始メ 生徒体重測定
	19	土			千葉、東京	0700抜錨千葉ヲ発シ東京二向フ 0920投錨 東京品川沖碇繫錨地着 第二十六次航海終了二際シ船長訓示
	20	日			東京	
	21	月			東京	0900課業始メ 総帆降下格納作業 1245課業始メ 総帆降架 動索外シ方及格納作業
	22	火			東京	
	23	水			東京	0915普通海員石炭庫石炭移動作業及雑業 1245課業始メ 帆修理
	24	木			東京	0610課業始メ 帆検査修理 0900課業始メ 帆検査修理
	25	金			東京	0800大正天皇祭ニ就キ船飾施行ス
	26	土			東京	
	27	日			東京	0900課業始メ 外舷拭取り及石炭搭載準備作業 0930石炭積取開始 1230課業始メ 石炭庫石炭移動作業 1400課業止メ 石炭35噸積取完了
	28	月			東京	0900課業始メ 帆修理 1245課業始メ 帆修理
	29	火			東京	
	30	水			東京	0610課業始メ 迎春準備 船内整頓
	31	木			東京	
（記事）10月1日～1943（昭和18）年3月23日第十三期生徒86名乗船 19日までは東京湾内で航海訓練 20日以降は東京港に停泊して訓練等を実施 21日帆の降下作業実施						